

【別紙】

ワークショップの結果 【会場：新堀振興センター】

【テーマ】

住み続けたいと思える花巻にするには

分類	課題と感じていること	どうすれば解決に向かえるか
農業と仕事・後継者	・農業従事者の減少 ・農地維持の難しさ	・農機具のリース事業 ・法人化により若い人材を養成する ・シルバーの活用 ・スキマバイトの活用 ・農福連携
公共交通	・石鳥谷大迫間のバスの本数が少ない ・のりあいバス利用料金を300円に設定（現在は600円）	・マイバス運動で利用増をはかる ・自動運転技術を地方にも ・予算をつける
地域の名物	・地域の名物の創設発信	・B級グルメ大会開催、商品化
石鳥谷のブランド発信	・石鳥谷のブランド発信 ・若者活躍・イベント ・ふれあい運動公園の環境整備	・ソフトボールの町ブランド化 ・ソフトボールグラウンドでイベント開催 ・戸塚森公園の整備
在宅介護	・在宅介護者への支援	・生活保護者と同額位の支援金を出す
害虫、野生動物被害	・アメリカシロヒトリ ・動物の被害 ・熊、鹿、イノシシ対策 ・熊	・熊とか野生動物にはこくですがタヌキ他始末する ・熊ばかりでなく鹿、イノシシ、猿も増えている 駆除する。 マタギを増やしてほしい（自衛隊OBとか） ・追い払い犬の活用
人口減少・少子化	・子供の数が少なくなり地域行事ができない ・少子高齢化の進行が激しい ・児童数が少ない小学校存続の見直し ・一人世帯の増加 ・新堀小学校児童の減少 ・若者流失 ・一人暮らし（若者、老人） ・一人暮らしの方の安否確認の補助を無料にしてほしい ・子供が都会に出ると収入の低い地元に戻ってこない ・少子高齢化 ・農業の後継ぎ ・地元に残っての職業	・出産祝い金の創設 ・児童の通学手段の確保 ・子育て支援に付いても増額する ・農業がダメになると国もダメになる 外国は農業保護のため沢山のお金を補助金として出しているようです。 日本も考えてほしい ・居場所作り ・農振地域の見直し

分類	課題と感じていること	どうすれば解決に向かえるか
空家対策	- 空家廃墟があり環境を悪化させている - 空家が増加している - 空家が増えている 雑草や小動物の住みかになってしまう→虫が発生して近所に住みにくくなる	- 市で撤去してもらう - 空家対策グループを組織する - 解体に係る経費の一部公費補助 - 空家をリフォームしおためし移住 - 人の住まなくなった家をサウ地にする と税金が高くなるのでやりたがらないので税金を安くしてほしい
高齢者の娯楽	高齢者の娯楽	健康増進策 昼カラオケの開催
自治会の存続	- 自治会班長の負担が大きい - 若者が地域の役職をやりたがらない - 若者の参加が少ない - 若者の活力がほしい	- 役職に対する報酬を上げる - 自治会業務のAI化を進める - 若者に企画をまかせる
地域コミュニティ	- 各役員の数が多過ぎるので少なくする - 地域コミュニティーの人員が減り従来の役につける人がいなくなる コミュニティーのあり方を変えなければならないと思う - 各役職にかかる負担が大きすぎる 特に区長	- 各協会の統合を目指す。（例、交通安全、防犯） - スポーツ協会と体育推進委員の統合 - 実績の上らない部門は廃止する - 役職減らす - 役職見直し - 業務内容の再構築
民生委員	民生委員の活動費を増やしてほしい	- 活動費に付いては増やしてあげる - 予算を増やす - 予算を増やす - 予算を増やす
医療問題	産婦人科が必要	- 市で産婦人科医を養成する - インターネット診断体制の構築
魅力の発信	- 花巻の強みを理解し強調する仕組みが足りない - 花巻の魅力に対する認識が薄い - 自分が住んでいるこの花巻を自慢してほしい	魅力情報発信はまず市民に向けて行う
買い物の不便さ	新堀地区に商店がなくなった	移動販売の構築
消防団員確保	団員確保が難しく団行事活動及や消火活動に支障をきたしている	- 他県の事例を参考にし団員の負担を減らす - 団員にPayPayなどの得点を付ける
自由に集まれる場所	自由に集まれる場所がない	- 自治公民館の利用方法の改善 - 空き家を利用し市で整備してもらう

分類	課題と感じていること	どうすれば解決に向かえるか
J R石鳥谷駅	石鳥谷駅のバリアフリー化	エレベーター及び時計の設置を市よりJ Rに要望してもらう
堤防	新堀側も堤防をつくる、	水害対策 町側には堤防があるが新堀側にはない
企業誘致	企業を誘致してほしい	- 新花巻駅周辺を開発してほしい - メリットある企業をよぶ - 企業を誘致して農業を会社勤めで安定した収入を確保できるようにしてほしい
その他	お店 コンビニがほしい	
		公費投入